

新春所感

午

2026年

新政権に期待

湖西市商工会会長

佐原功一郎氏



も、先行き不透明な状況が続くと思います。

このような中、会員事業所の様々な経営課題に対応できるよう、経営相談の強化や新たな事業の創出、また、経営者の高齢化と後継者不在による廃業の増加が見込まれることから、新規創業者発掘と会員拡大を図っていききたいと考えています。

謹んで新春のお慶びを申し上げます。日頃から商工会運営に対し多大なるご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

昨年の経済社会情勢は、内外ともに不透明さと緊迫の度が増した1年でありました。トランプ大統領就任から懸念されていた関税問題は、米国との関税交渉が妥結し、15%の相互関税などが課される事になりました。この新たな関税負担は、輸出企業のみならず、部品供給や物流などサプライチェーンを構成する中小企業にも影響を及ぼす事が避けられません。

自動車産業がわが国経済の屋台骨をなす基幹産業であるため、当地域も中小企業の経営や雇用などへの影響が大きいです。

また、国内では消費者物価・エネルギー価格の高騰、深刻さを増す人手不足など、依然として会員企業にとって厳しい状況にあります。本年度

令和7年を振り返りますと第一に、新居町商工会との合併を見据え、合併協議会を発足して合併協議を推進しました。

第二に、引き続き中小企業の人手不足感を解消するため外国人技能実習生及び特定技能者の受入企業の拡大を図りました。

第三に、引き続きアフターコロナの環境変化に応じたビジネスモデルの再構築に係る取組みと、新規創業者に対する支援を行いました。また産業の発展と地域振興、市民の健康増進と世代を超えた交流を目的として「こさいの日（5月31日）」に湖西運動公園にて第1回「KOS愛フェス（こさいフェス）」を開催したり、鷺津駅前ひまわり広

場にて、朝活カフェでパンまつりや恒例のきらきらフェスタを開催しました。

高市政権の発足により、国全体として成長投資と地方経済の活性化策を期待しています。半導体・デジタル・GXなどの先端分野への国家的支援は、大企業のみならず中小企業の生産性向上にも波及し賃上げ原資の確保や設備更新の促進につながります。

湖西市におきましても、自動車・輸送機器関連産業を中心とした製造業が地域経済の柱であり、デジタル化や人材確保は喫緊の課題です。国の支援策と連動した生産性向上投資、外国人材の受入れ環境整備、物流の効率化が進む事で地域企業の競争力向上に大きく寄与すると考えております。さらに、地場産業や観光資源を生かした地域活力の創出により、市内事業者の持続的な発展に期待したいです。

当商工会といたしましては会員事業者の皆様がこうした変化の波を確実に捉え、持続的に発展していただけるよう経営相談をはじめ、補助金等の支援制度活用、人材確保・外国人材支援、DX・生産性向上、創業・事業承継などの取り組みを強化してまいります。また、行政・関係機関と連携し、地域産業の振興と魅力ある地域づくりにも力を注いでまいります。

本年が、会員事業者の皆様にとりまして飛躍の年となりますことを心より祈念申し上げます、年頭のごあいさつといたします。